

e-dream-s 通信

e-dream-s ホームページ <http://www.e-dream0s.org>

No.23 発行：2002年5月12日 特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

毎日更新！ 教育用写真アーカイブ @aglance (アット・ア・グランズ)

会員のみなさんはもうご存知と思いますが、@aglance のサイトは新たな改良が加えられ、どんどんと使いやすく、よりよいサイトになっています。

新しい写真を毎日見ることができるだけでも面白いのですが、その他にも、楽しみが一杯の @aglance です。しばらく@aglance を見られていない方は、是非、お立ちよりください。また、見られた際には、掲示板に一言、ご感想をお忘れなく。

- 目次
1. 世界征服への課題と展望 辻荘一 p2
 2. 1位は福岡市。大阪市は？・・・うーん 中川房代 p3
 3. 視聴者がニュースを決定する 井川好二 p5
 4. 3泊5日マレーシア駆け足ツアー報告(続)~お料理編~ 丸野有利子 p8
 5. e-dream-s 第8回理事会開催のお知らせ 等 p9



ネパールには鉄道が無いので、バスが主要な交通手段となる。日本人の感覚からすれば「ポロポロ」のバスにたくさんの方が乗っている。車内に乗り切れず屋根の上にも人がいるが、時々道に大きな穴があったりするので、落ちる人もいる。(1996.10... 大竹勇次)

世界征服への課題と展望

@aglance 司令官

辻 莊 一

教育用写真サイトとして世界に貢献するために発足した@aglance 軍は当面その力を海外写真に傾注し、海外写真分野で全世界を征服することを目標とする。わが@aglance 軍は現在までに21カ国に進出しその占領国、占領範囲を拡大するために各部隊が活躍中であるが、まだ占領国数が不足していることはもちろん、進出済みの国においても限られた地域のみしか占領できておらず、さらなる努力が求められている。また、軍資金・物資共に潤沢とはいえず、これをいかにして調達するかが大きな課題となっている。

4月の作戦発動以来の戦果と今後の展望をここに報告し、会員諸君のさらなる発憤を促すものである。

これまでの作戦と戦果

- (1) 今日の一言毎日更新
- (2) 新着写真は毎日5枚ずつ掲載
4月3日～5月12日 5×40=200掲載、合計画像数1262
国別ジャンルわけは11カ国から21カ国に増加
- (3) 処理待ち画像数340、提供の合意済み画像約1000(合計1340)
- (4) おすすめ写真選択の理事持ち回り決定(毎週日曜日更新)
- (5) リンクが掲載されたポータルサイト

Intersearch

<http://www7.lunartecs.ne.jp/~yuuchans/>

子どものためのリンク集「子どもの国」

<http://www.enjoy.ne.jp/~isshindo/>

J.O.Y. --- Japanese Open Yellowpage

<http://joyjoy.com/JOY.html>

- (6) Web上の写真サイトに提供を依頼4サイト中3サイトから承諾を得る
(1サイトは会社が著作権を管理しているので残念ながらできないとの返事あり)

課題と対策

- (1) 運営資金の獲得
助成金獲得 (リスト制作中)
新聞への露出 (新聞記者との接触)
- (2) 画像数の増加
収集作業の強化 (紙の写真・写真サイト)
海外駐在員
- (3) アクセス数の増加
教育関係雑誌 (リスト制作済み)
新聞への露出
ポータルサイトへの登録
主な検索エンジン (Google など) へは登録済み
教育・写真関係サイトへの登録
- (4) パンフレット再編集
収集作業・マスメディアへの露出に必要

以上が、前線及び兵站の現況である。会員諸君はこの状況を良く理解しあらゆる機会を利用して@aglance 軍の正当性を主張し、協力者を獲得することを切望するものである。

1 位は福岡市。大阪市は？……う～ん

中 川 房 代

大阪市は 19 位、神戸市 8 位、京都市 9 位。関東では、東京都区部で 14 位、前橋市が 15 位。さて、何の順位でしょう？ わかりますか？

総務省統計局では、毎月家計調査を行っていて、それによると、全国の都道府県庁所在市（東京は区部）と川崎市、北九州市を加えた 49 都市のうち、2001 年の 1 年間の 1 家庭の寄付金のランキングは以下の通りであった。

< 2001 年（平成 13 年）都市別ランキング >

順位	都市名	金額（円）
1	福岡市	5,683
2	金沢市	4,947
3	鳥取市	4,038
	
47	青森市	1,012
48	岐阜市	928
49	北九州市	698

因みに前年度 2000 年の上位 3 都市は、1 位奈良市(13,776 円)、2 位徳島市、3 位富山市であった。

これだけの資料では、はっきり言って規則性も関連性もよくわからないし、「寄付金」なるものの定義もはっきりしない。が、1 つだけいえることは「金額が少ない」ということである。推測するに、歳末助け合いや赤十字募金といったものがほとんどで、NPO などへの寄付はもっと少額なのだろう。

私たちは今後、助成金や補助金、企業や個人からの寄付を集めていこうとしている。そのためには、魅力のある事業をしていくことと同時にその PR・広報活動にも力を入れていかなければいけないと思う。4 月の打ち合わせで、助成金の応募や新聞・雑誌への掲載への働きかけを活発にしていくことになった。もっともっと e-dream-s の社会認知度を高めていきたい。

お金の話をもう 1 つ。

4 月は多くの組織で年度の変わり目。役所も同様で、前年度の実績・実態に対して税金が課せられ、その請求書が届く。社会生活をしていく上では、住民税や自動車税や固定資産税やその他諸々の税金を払っていかなければならない。

NPO 法人も、法人税法上 1 法人としての税金が課せられる。

1 つは、住民税にあたる「均等割」と言われる税で、e-dream-s の場合は、法人事務所所在地の大阪府と吹田市の 2 つの税を支払うことになる。(収益事業を行わない場合は申請による減免措置がある。)もう 1 つは、法人税・事業税で、収益事業を行った場合のみであるが、その生じた所得に応じて課せられる。

e-dream-s は 5 月末で設立 2 年目を終える。今事業年度は写真アーカイブズで東京書籍との事業もあり、初めて法人税・事業税を支払うことになる可能性も出てきた。

税金について日頃意識を持つことはほとんどないが、税務署に足を運び、担当の係員と相談をする機会を持つと、税金の重みを感じてくる。1 法人としての社会的な責任も感じる。1 円でも支払うのが「もったいない」なあとと思う。私たちが苦勞して払う税金だから「きちんと使ってほしい!」と思う。同時に、私たちも会員の会費や事業収入をきちんと使っていかなければ、と肝に銘じる。

e-dream-s.come.true

視聴者がニュースを決定する

井川 好二

最近のマスコミ報道、特にテレビ報道、には、視聴者の反応を大きく意識したものが目立つ。マスコミが大衆に阿るのは以前からだが、最近この傾向が、技術的にも、精神的にも一層深化したと思える。まるで台本に基づいたパフォーマンスのような映像や音声コンテンツが、見やすくコンパクトに編集されて、毎日毎日陸続とリビング・ルームにやってくる。こんなエンタメ・ギリギリな報道はやめてしまえ、と云っているのではない。こうしたニュースに視聴者自身がかっと冷静に、より批判的になるべきだと云いたいだけである。

例えば、昨年九月の NY 世界貿易センタービルにおけるテロ事件では、まるでハリウッド映画のような映像・音声、リアルタイムに世界中に流された。リビング・ルームの視聴者は、

旅客機がビルに激突し貫通する鮮烈な始まりから、巨大な摩天楼が崩れ去るショッキングな結末を何回も映しだすテレビを、ただ呆然と見つめ続けていた。

いや、むしろ、そうした Audiovisual 性が高く、インパクトの強い報道素材でないと、マスコミに取り上げられニュースになることはない。時々刻々、世界各地ではありとあらゆることが起こっているのだが、見栄えのする映像、聞き応えのある音声のみが、今日のニュースとして、伝えられる。反対に、見栄えのしない、聞き応えのない素材は、それが如何に重要なものであっても、無視される可能性すらあるのだ。蓋し、マスコミ報道では、外見が全てなのである。

この点、日本が不利益を被っていることを、思い出しておくのも重要だろう。なぜなら、多くの日本人政治家は、見栄えもしないし、聞き応えもないこともまた事実だからで、日本発のニュースが、日本でしか見られていないことを、大半の日本人は忘れている。

また、こうしたコンテンツ、つまり素材、を、どう料理するかも大きな要素である。中でも重要なのは、コンパクトに纏まっているかどうかと云うこと。その映像・音声数十秒単位で簡潔に纏まっていることが肝要で、それはつまり、15秒、30秒などの単位で流されるTVコマーシャルと、ある意味で同質な纏まりが要求されていると云える。従って、Audiovisual 性が高く、インパクトの強い素材でも、時間枠に収まらない場合は、細切れにして報道される。しかし、その断片化された映像・音声は、スタッフにより統一性あるものに編集されて、リビング・ルームに登場するわけである。

ポイントは、もちろん、視聴者にとって、と云う点であり、さらに云えば、ニュースの内容は、その視聴者の質によって、変化するものなのである。

今回(5/9/02)の中国瀋陽にある、日本領事館への朝鮮民主主義人民共和国(以下、北朝鮮)難民の亡命未遂事件ほど、Audiovisual な要素が鮮明なニュースも珍しい。また、この報道ほどニュースについて考えさせるものもない。

子供を含む5人の北朝鮮人が故国を捨て、韓国への亡命を求めて、日本領事館へ駆け込もうとした。そのうち二人の男性は、領事館敷地内へ無事入り込み、女性・子供を含む3名が、領事館入り口付近で、中国の警察官ともみ合いになり拘束される。やがて、駆け込みに成功したはずの二人の男性も、領事館の敷地内で、中国官憲に逮捕拘引されて、領事館から出て

くる。

韓国の北朝鮮亡命者を支援する NGO 団体から、事前通告を受けていた韓国の報道機関が、この一部始終をカメラとマイクに収め、世界中に配信する。治外法権であるはずの領事館敷地内に入り込み、強引に亡命希望者たちを引きずり出そうとする中国人警官たち。泣き叫ぶ亡命希望の女性、ほぼことが終わってから、ようやく、日本人大使館員がまぬけな顔を出す、無論、為すすべもない。

見栄えのする、聞き応えのある、インパクトの強い、コンパクトによく纏まった素材ではある。しかし、これは純粋な意味での報道ではない。寧ろ、様々な意図の元に書かれた筋書きに従って敢行され報道された、「ヤラセ」なのではないだろうか？

なぜなら、以下の疑問が沸くからである。

- (1) 亡命者の受付にあまり積極的ではない、従って亡命成功率の低い、日本領事館を駆け込みのターゲットとしたのは、何故か？
- (2) 接したアメリカ領事館へも、同時に駆け込みが行われ、成功している。アメリカ領事館への駆け込み者は、男性 2 人であった。それならばなぜ、女子供を含む 5 名に、成功確率の低い日本領事館への駆け込みを決行させたのか？
- (3) みすみす失敗すると分かっている、日本領事館を対象としたのなら、その意図は何か？

こうした基本的な疑問が沸いてしまっただけでは、如何にインパクトのあるニュースであっても、嘘くさく感じられるのは否めない。

今のところ答えは見えない。しかし、韓国、中国、北朝鮮、日本、そしてアメリカの意図が複雑に絡まっているように思える。蓋し、Audiovisual 的報道は、その単純明快さほど、単純ではないと肝に銘じること。(Saturday, May 11, 2002)

3泊5日マレーシア駆け足ツアー報告（続）～お料理編～

丸野有利子

前回の報告では、山田さん、飯田さんとも食べ物で苦しんだエピソードがちょっと目立ったため、ツアー参加を迷った人がいるのでは……。実は私はまったく平気でしたので、どうぞご心配なく。コツは、食べ過ぎず、飲み過ぎないことです。

<サテー SATE>



マレー風ヤキトリといったところ。タレにつけた羊、鶏、牛などの肉を串にさして炭火で焼いたもの。ピーナツソースをつける。付け合わせは玉ねぎ、キュウリ、トマトなどの生野菜。

タレの味が独特でちょっとクセがありました。でも食べやすい料理に入るでしょう。以前、東京のインドネシア料理店でピーナツソースがけ温野菜サラダを食べたら、まあ美味しかった

こと。でも後で顔が青春のシンボルだらけになってしまいました。私のようなピーナツアレルギーの方は、ピーナツソースはつけないでお召し上がりください。

これはペナンのスリ・サヤン・コンドミニアムの近くのレストランで。冷房は無く扇風機のみでしたが、非常に風通しの良い建物で、雨が降ったらどうするんやろ、と余計な心配をしたほどでしたが、雰囲気は良くお値段も手頃で、お勧めです。

<カレー>



シバさんにご馳走になったカレーレストラン。人によそいでもらうバイキング形式と言いましょ、店のお兄ちゃんに、このチキンカレーね、それからエビカレーも、スチームライス、野菜サラダもね・・・と指さしていくとそれを一つのお皿に盛ってくれます。カレーだけでも20種類ぐらいあってびっくり。ただ、スパイシーな料理は少な目にした方がよろしいようです。でもビールが置いてなかったのはインド系イスラム教徒のための店だから？

< e-dream-s 第 8 回理事会開催のお知らせ >

日時：6月29日(土)～6月30日(日) 1泊2日

会場：リゾートホテル・モアナコースト

徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂 186-16

tel.088-687-2255 fax.088-687-2290

<http://www.moana.co.jp/moana/moana.html>

議題：2001年度事業総括、2002年度計画について 他

* 理事以外の方も是非ご参加下さい

～その他のお知らせ～

< NPO ミニレクチャー >

日程：ミニレクチャー45分

5/18(土) 14:00～「NPOと起業の協働のあり方」

松井淳太郎さん(大阪ガスいきいき市民推進室 理事)

6/1(土) 14:00～「NPOの経済的自立って?～私たちの活動から」

立石美佐子さん(北摂こども文化協会 専務理事)

6/5(水) 19:00～「NPOの"経営"を考える(1)」

金井宏美さん(大阪NPOセンター 代表理事)

6/15(土) 14:00～「NPOの"経営"を考える(2)」

三木秀夫さん（弁護士・大阪 NPO センター理事）

主催：大阪 NPO センター

参加費：無料

会場&問合せ先：「NPO 大学院講座」事務局

〒556-0011 大阪市浪速区難波中 3-9-3

TEL:06-6647-1005 FAX:06-6631-0090

URL: www.npogs.net E-mail: info@npogs.net

<講演会「NPO 起業・経営・ネットワーキング」>

「NPO も経営の時代をキーワードに、

「日本における 21 世紀型 NPO の経営・運営」について探ります。

日時：6/14（金）15:30～17:30

場所：エールネットワーク専門学校 7 階ホール

講師：今田忠氏（市民社会研究所所長）

主催：大阪 NPO センター

参加費：1,000 円

申し込み・問合せ：NPO Graduate School

〒556-0011 大阪市浪速区難波中 3-9-3

TEL:06-6647-1005 FAX:06-6647-1470

URL: www.npogs.net E-mail: info@npogs.net

編集後記

@aglance のサイトは日々刻々と変化があつて、面白い。一度訪れると、あれもこれも見たくなくて、気が付くともう 1 時間が過ぎている。e-dream-s のホームページもやるべきことがたくさんある。@aglance から e-dream-s に興味を持って、e-dream-s のホームページに立ち寄る人も出てきているだろう。@aglance の発展を励みに、ホームページのほうも改良していきたい。みなさんのご意見もお待ちしています。（田辺恵美）